

SF-36を用いた腰部捻挫に対する 柔整施術効果の検討(第1報)

公益社団法人 大阪府柔道整復師会

目的

- 他の施術方法では**患者のQOL評価**にまでわたる研究がなされているが、柔整ではそのような研究は少ない。
- **腰部捻挫(腰痛)患者**を対象に柔整施術の効果を自己記入式アンケート(SF-36)を用いて**定量的に**評価した。

SF-36とは

- SF-36®とは、健康関連QOLを**定量的に**測るアンケート形式の尺度
- 世界中で最も普及
- 疾患を選ばない
- SF-36®は、**8つの健康尺度**を測定する

SF-36とは（実際のアンケート）

あなたの健康について

このアンケートはあなたがご自分の健康をどのように考えているかをおうかがいするものです。あなたが毎日をどのように感じ、日常の活動をどのくらい自由にできるかを知らうえで参考になります。お手数をおかけしますが、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

以下のそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに印（☑）をつけてください。

問1 あなたの健康状態は？（一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい）

最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問2 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか。（一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい）

1年前より、はるかに良い	1年前より、やや良い	1年前と、ほぼ同じ	1年前ほど、良くない	1年前より、はるかに悪い
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問3 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。（ア～コまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい）

とても むずかしい	少し むずかしい	ぜんぜん むずかしく ない
▼	▼	▼

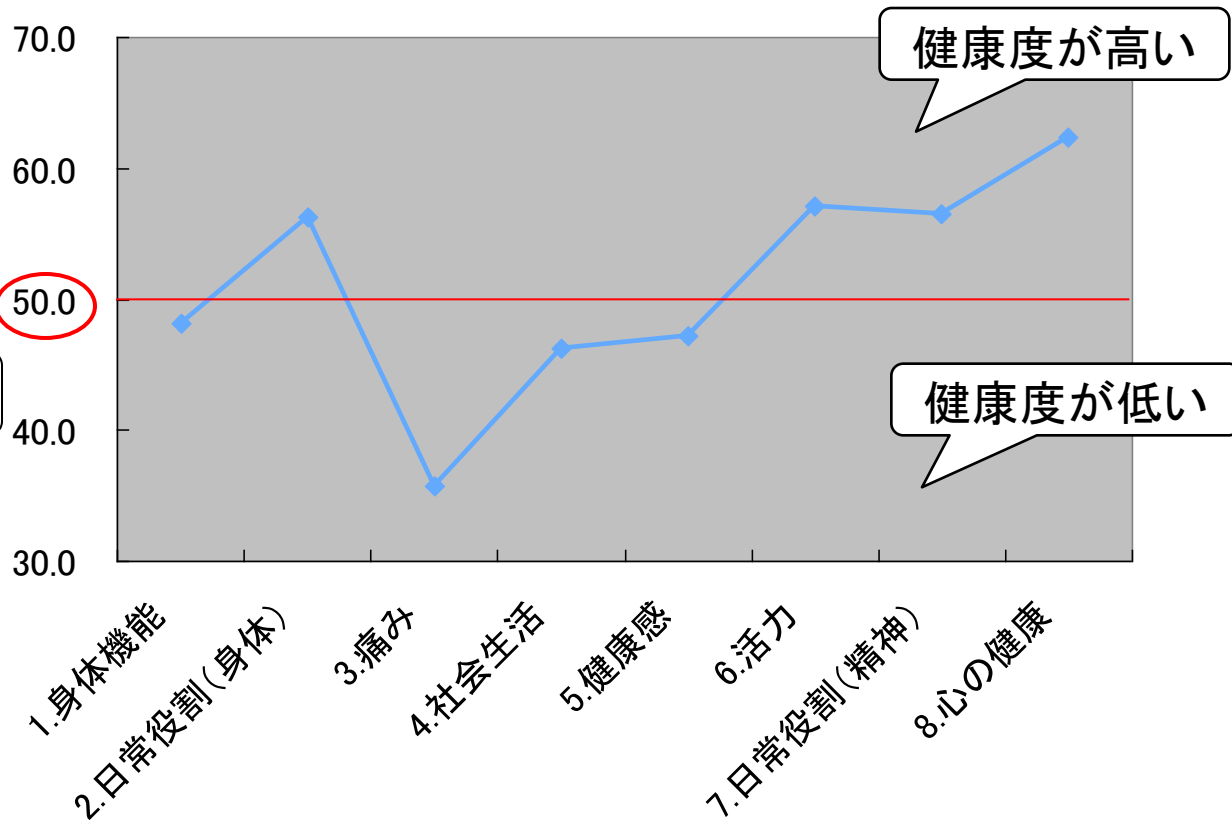
- ア) 激しい活動、例えば、一生けんめい走る、重い物を持ち上げる、激しいスポーツをするなど..... 1..... 2..... 3
- イ) 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど..... 1..... 2..... 3
- ウ) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする（例えば買い物袋など）..... 1..... 2..... 3
- エ) 階段を数階上までのぼる..... 1..... 2..... 3
- オ) 階段を1階上までのぼる..... 1..... 2..... 3
- カ) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ..... 1..... 2..... 3
- キ) 1キロメートル以上歩く..... 1..... 2..... 3
- ク) 数百メートルくらい歩く..... 1..... 2..... 3
- ケ) 百メートルくらい歩く..... 1..... 2..... 3
- コ) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする..... 1..... 2..... 3

SF-36 8つの概念とは

下位項目	内容
1.身体機能	健康上の理由で、入浴・着替えなどの活動を自力で行うことが、むずかしいかどうか
2.日常役割機能(身体)	仕事やふだんの活動をした時に身体的な理由で問題があったかどうか
3.日常役割機能(精神)	仕事やふだんの活動をした時に心理的な理由で問題があったかどうか
4.全体的健康感	健康状態が良いか悪いか
5.社会生活機能	家族、友人など仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でさまたげられたかどうか
6.体の痛み	体の痛みのためにいつもの仕事がさまたげられたかどうか
7.活力	活力にあふれていたか、疲れはてていたか
8.心の健康	おちついて、楽しく、おだやかな気分であったか、神経質でゆううつな気分であったか

SF-36 スコアの1個人例

- 国民標準値は50に設定されているので,
 - 50以上であれば, 健康度が高い
 - 50以下であれば, 健康度が低い と判定する.



対象

- 「オージェイ整骨院」を受診した腰痛初診患者**23例**
 - 男性8人, 女性15人
 - 年齢: 21~84歳(平均; 45.4歳)
- 除外基準
 - 施術が3回未満
 - 追跡不可能患者
 - 不完全回答

方 法

- アンケート実施

- 第 1 回 ; 腰痛初診患者
 - 第 2 回 ; 施術2週間後
 - 第 3 回 ; 施術1ヶ月後
- にSF-36のアンケートを実施.

- 定量的な統計解析

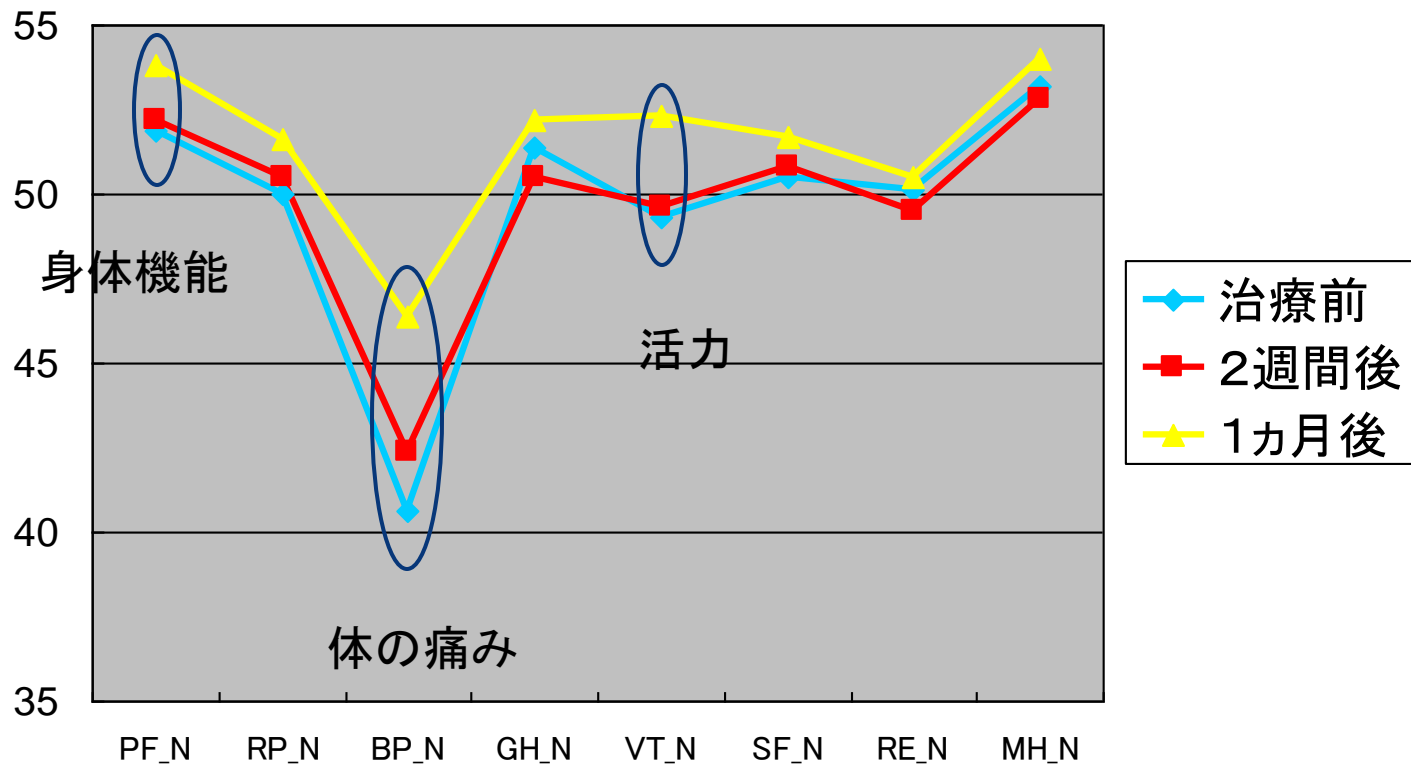
- 初診時スコアと施術後2週間, 1ヶ月後スコアーとの比較検討
(ウィルコクソン符号付順位和検定, ボンフェローニの方法による多重比較)

治療法

- 治療回数
 - 平均 ; 7回/1ヶ月
- 柔整治療
 - 運動療法 ; 23/23例
 - 物理治療 ; 23/23例
 - テーピング ; 10/23例
- 医療機関治療
 - 医療機関併用治療 ; 6/23例
 - 内服薬治療 ; 6/23例

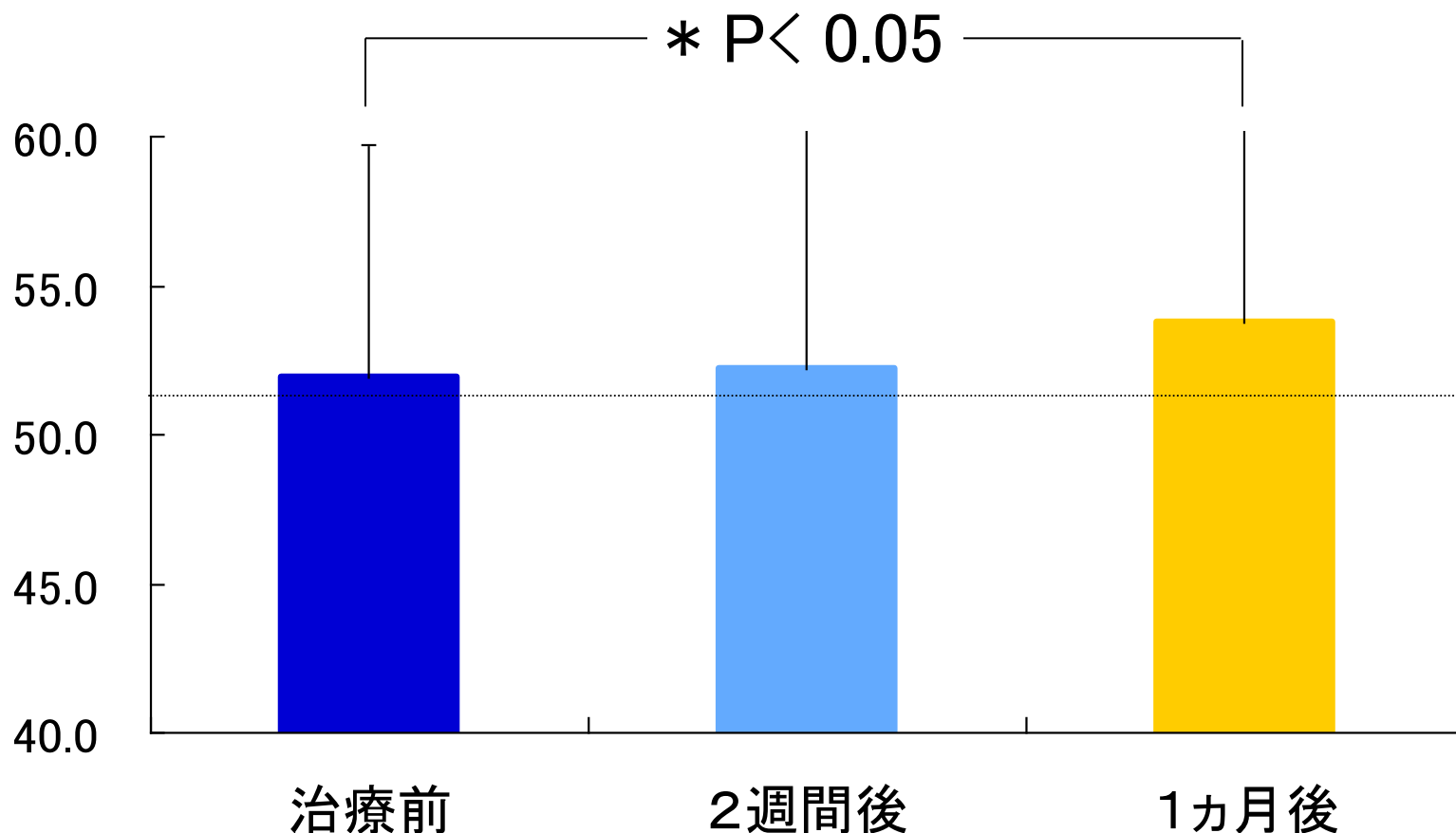
結果（全体）

- 治療前と2週間後では有意差なし
- 1ヶ月後は全ての項目において改善傾向あり



結果：身体機能

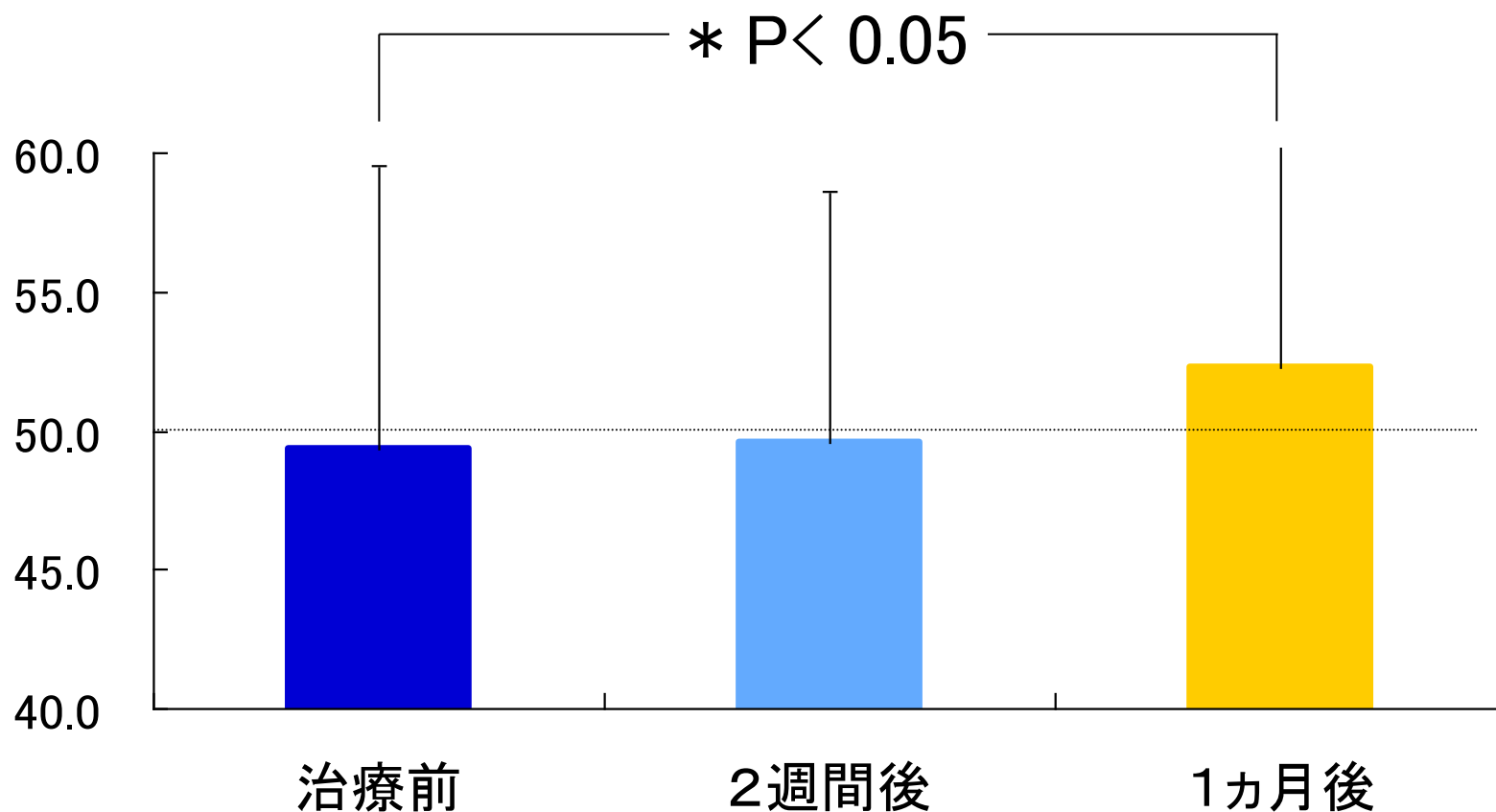
(健康上の理由で、入浴・着替えなどの活動を自力で行うことが、むずかしいか)



(ウィルコクソン符号付順位和検定, ボンフェローニの方法)

結果：活力

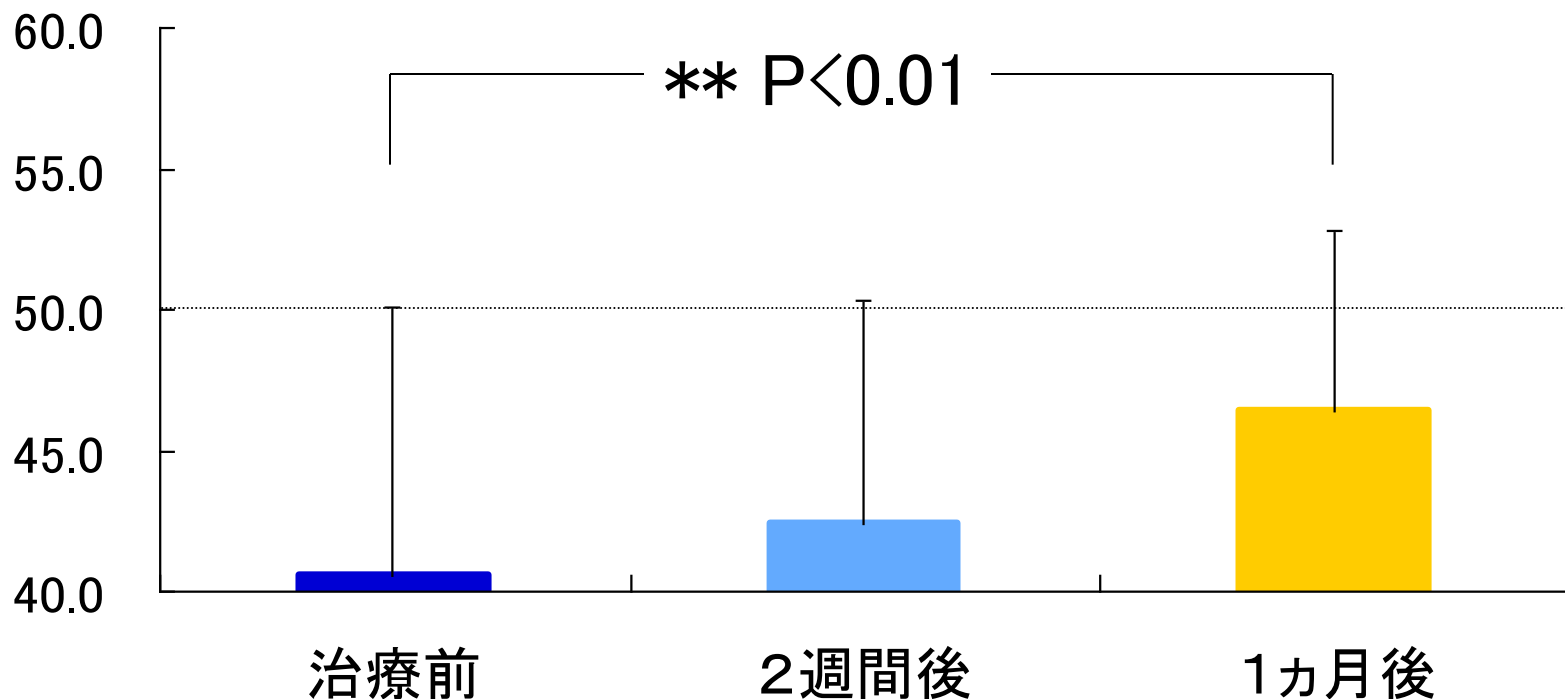
(活力にあふれていたか、疲れはてていたか)



(ウィルコクソン符号付順位和検定, ボンフェローニの方法)

結果：体の痛み

(体の痛みのためにいつもの仕事が妨げられたか)



(ウィルコクソン符号付順位和検定, ボンフェローニの方法)

結 果

治療効果

1. 施術2週間では効果は統計的有意差なし
2. 施術1ヶ月後では全項目で改善傾向
3. 特に、身体機能、体の痛み、活力で、統計的に有意に効果あり
4. 施術の継続が有効であると考えられる
5. 最も改善度が高かったのは体の痛みであった

鍼灸治療の場合

河瀬ら (2006) ; 全日本鍼灸学会雑誌

腰痛に対する鍼治療

－ 偽鍼を対照群に用いた多施設ランダム化比較試験 －

- 太極療法＋低周波群, 太極療法群, 低周波群, 偽鍼群での治療効果をJOA, VASにて評価
- 偽鍼群以外の治療法で主に痛みスコアが有意に改善

整形外科の場合

酒井ら (2008); 日本腰痛会誌

「前屈および後屈障害型腰痛における運動療法の効果」

- 運動療法の効果を, JOAスコア, VAS, SF-36を用いて評価
- 後屈障害型において, VAS, SF-36(身体機能, 痛み, 日常役割機能)が有意に改善

結 語

- 腰部捻挫（腰痛）患者を対象に柔整施術の効果を自己記入式アンケート（SF-36）を用いて評価した。
- 柔整施術後2週間後では、どの項目でも有意な改善は見られなかった。
- 柔整施術後1ヵ月後の評価において、**身体機能**、**活力**、**体の痛み**で有意な施術効果が認められた。
- 柔整施術において患者の疼痛・運動機能だけでなく、**QOLまで評価したデータは本調査が初めて**

ご協力のお願い

公益社団法人 大阪府柔道整復師会は
府民に適切な医療を提供できるよう
研究を進めて参ります

症例収集やアンケート依頼の際は、
何卒ご協力の程、お願いいたします。